

日本特殊陶業がデンソーのスパークプラグ事業等の譲受に向けた協議・検討を開始ー協議の進捗と収益財務への影響を注視

以下は、日本特殊陶業株式会社（証券コード：5334）が、株式会社デンソー（同：6902）のスパークプラグ事業等の譲受に向けた協議・検討を開始したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は7月10日に、取締役会において、株式会社デンソーが運営するスパークプラグ事業、排ガス用酸素センサに係る事業の譲受に向けた協議・検討を開始する基本合意書を締結することにつき決議したと公表した。本事業譲受によって、内燃機関製品の生産体制が最適化することによる安定的な供給、スケールメリットが生まれることによる生産過程での環境負荷低減等が期待できるとしている。
- (2) 当社はスパークプラグや排ガス用酸素センサで世界トップシェアを有しており、本事業譲受は中期的に内燃機関事業の強化につながると考えられる。一方で、EV化が加速する中、当社は30年頃を目途に内燃機関向け製品に頼らない事業構造への転換を目指し、非内燃機関事業において買収や事業再編を進めている。JCRでは、本事業譲受によるシナジー効果に加え、先述の事業構造転換と収益財務への影響を見定める必要があると考えており、両社による協議の進捗をフォローしていく。

(担当) 窪田 幹也・上村 暁生

【参考】

発行体：日本特殊陶業株式会社

長期発行体格付：AA- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル